

公益財団法人 国際仏教文化協会 平成 27 年度 事業報告

公益財団法人 国際仏教文化協会

当協会は、当協会定款第 3 条「大乘仏教の持つ現代的意義を究明し、欧州等の人々の研究に便宜を与え、東西文化の交流を図り、もって我が国の発展と国際平和に寄与することを目的とする」に基づき、「公益目的事業 1」として、欧州等における大乘仏教思想・大乘仏教文化の振興に対する助成およびシンポジウム・講演会等の開催を主事業とする。その趣旨は、欧州等における大乘仏教の思想・文化の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教思想・大乘仏教文化への理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資するものとし、平成 27 (2015) 年度事業計画に基づいて下記の通り具体的な事業を推進した。

1. 公益目的事業 1 (振興事業) :

各末尾符号 (「(1)」等) は定款第 4 条規定の対応する事業項目 (号) を示す

(1) 公益目的事業 1 (1) : 研究助成事業 (大乘仏教の研究活動やその成果の出版等の費用、研究者の日本への留学費用等の助成によって振興を図る)

① 機関誌発行 :

事業の経過・成果などを報告する機関誌『IABC NEWS no. 51』を編集・発行し、国内外の関係者、支援者、有縁の人々に配布し、事業啓蒙するが、諸般の事情で編集を当期内にほぼ終えているものの、その発刊が次期中葉に遅延することとなった。— (1)

② 仏教書印刷発行と普及 :

欧州等における、欧州語等による仏教書 (各グループの機関誌を含む) の印刷・発行の助成と普及、並びに欧文の仏教書の編集発行について、[表 1] のように助成を行った。— (2)

なお、欧文ジャーナル『Shin Buddhist 11』の編集発行について、理事会のもとに設置の編集委員会で編集にあたった。当期は、4 月以降、事務所で計 3 回、編集の会合を開催、会合以外にインターネットにより校正などの作業を進め、編集校正にあたった。ヨーロッパでの会議 2 回分の発表などで相当のページ数となると見られ、発刊を次期中葉に予定で、当期はその作業にあたった。

③ 欧州等の仏教関係機関への物心両面の支援 :

選考委員会で審議決定された選考結果に基づき計画通り、[表 1] のように、欧州等における各グループへの支援助成を行った。— (3)

[付記] 上記②にいう編集委員会、③にいう選考委員会については明細書に記す。

〔表1〕 欧州等の仏教関係機関への活動支援、仏教書印刷発行と普及への助成の明細

助成対象	サンガ：代表者・地域など	助成額	摘要
ベルギー：アントワープ・サンガ	Jikoji Sanga: F. Martens, Antwerpen	600,000	サンガの啓蒙活動
ドイツ：シン・サンガ	BGJ-D: F. Kobs; M.Nottelmann; I. Evers	600,000	サンガの啓蒙活動
英国：PLBF	Chomon House: G. Robinson, Southampton	500,000	サンガの啓蒙活動
ルーマニア：他力道場サンガ	Amidaji: A. Cirlea, Craiova, Rumania	400,000	サンガの啓蒙活動
白蓮華サンガ:Myokoin	Diane E. Dunn, Oregon, USA	300,000	絵本などで啓蒙
オーストラリア・サンガ	Muryoko: J. Paraskevopoulos, Australia	550,000	ウェブ更新、書籍出版
ギリシャ仏教会：テッサロニキ	P. Theodoridis, Thessaloniki, Greece	210,000	ギリシャ語仏教書出版
NCC 宗教研究所	高塚郁男, 京都	300,000	宗教・仏教のセミナー等
個人及び特別（緊急）の支援			
海外書道展	早寄得雄, 長浜（滋賀）	400,000	NYにて墨書展
カトマンズ本願寺	Kathmandu Sangha: Sonam Wandgi Bhutia	300,000	大地震への支援
合計額		4,160,000	

(2) 公益目的事業 1 (2)：振興活動支援事業（大乘仏教の研究に関するセミナーやシンポジウムの開催に対する助成、研究者の日本への留学費用の助成によって振興を図る）

① **ヨーロッパ真宗会議開催の支援**：隔年開催のヨーロッパ真宗会議（大乘仏教の一つの究極たる他力回向の思想と大乘仏教の諸思想との対論によって大乘仏教の思想理解を深めあ一般に啓蒙する会議）の次回(第18回)を2016年8月23日~26日にベルギー・アントワープで開催する予定で、その準備業務に当たった。現地の議長担当 Fons Martens（アントワープのシン・サンガ代表）が中心になり、その会場、宿泊施設の検討・決定・予約等を進める、その全面的支援を行った。ヨーロッパ各地の各機関のみならず、前回参加のあった米国、カナダ、ハワイ、ネパール、日本を含めて世界の関係する仏教関係の団体・個人に会議開催を公示し、会場等の予約などを進めた。

② **講師派遣**：ドイツ・デュッセルドルフの恵光ハウス日本文化センターで、毎年開催の仏教セミナーに日本から講師を派遣するについて、当期は新井俊一・相愛大学名誉教授を派遣することとなり、その派遣費を支援した。欧州等から集まった参加者は大乘仏教思想を語り合う好機を得た。（助成：500,000円）

③ **奨学助成**：1) 欧州等から来日して大乘仏教思想・文化を学ぼうとする者を招聘奨学生として、2) 本邦から欧州等に出て広く宗教学などを学び学際的な視野をもって大乘仏教の振興に寄与しようとする者を派遣留学生として、また3) 短期間のセミナー（大乘仏教思想等を研鑽するセミナー等）に、来日あるいは渡航して参加し、大乘仏教の理解を深め一般にも啓蒙、普及しようとするものを短期研修留学生として、それぞれ採用して助成する。理事会のもとに設置の選考委員会（これまでの審査委員会を名称変更）で採用の適切性を判定する。本年度は、下記の留学生を採用。

留学生：新作慶明（にいさくよしあき：東京大学大学院博士後期課程在学中、インド学仏教学専攻）『プラサンナパダー』（『中論註：浄明句論』）の写本研究。オーストリア科学アカデミーアジア文化・思想史研究所にて Anne MacDonald 博士に師事、前期に引き続き6か月間の留学。（奨学金：600,000円）

- ④ **報告と講演の会**：当年は、秋季にヨーロッパ（ギリシャ）から来日し京都の仏教寺院を見学、仏教を現地学習した Petros Theodoridis を迎え、京都在住の留学生を含む「日欧仏教交流会」を開催、有縁の者 20 名余が参加し、有意義な意見交換の場を持った。（会費制：52,000 円を支援）

2. 協会運営：協会の庶務の概況

上記の公益事業を推進するための協会体制およびその運営を、前期と同様に次のような役員会、委員会等を組織し推進した。

(1) 役員会等：理事会、評議員会（決算、予算、事業報告、事業計画の件等の審議及び推進）

役員等は、定款第 14 条「評議員 3 名以上 6 名以内を置く」および第 29 条「この法人に次の役員を置く。(1) 理事 3 名以上 6 名以内 (2) 監事 1 名」に基づいて、評議員・監事は任期 4 年で平成 25 年 4 月に、理事は 2 年任期を経て平成 27 年度より、それぞれ次の通り選任・就任している。（備考欄に本務を付記する）

	氏名	初就任年月日	担当職務	報酬	備考
評議員	金児 慧	H25.04.01.	評議員会議長	無	本願寺派寺院住職
	江里 康慧	H25.04.01.	評議員	無	仏師
	寺井 良宣	H25.04.01.	評議員	無	天台真盛宗寺院住職
代表理事 理事	佐々木恵精	H25.04.01.	代表理事（理事長）	無	元京都女子大学教授
	井筒與兵衛	H25.04.01.	理事（副理事長）	無	（株）井筒社長
	柏原 信行	H25.04.01.	理事（常務理事）	無	真宗大谷派寺院住職
	高田 信良	H27.06.16	理事（常務理事）	無	龍谷大学教授
監事	松本 和也	H25.04.01.	理事会業務監査	無	税理士

（注記）報酬について、基本的に無報酬であるが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する。

(2) 職員に関する事項：理事会業務執行にあたり、協会事務処理業務を下記の体制で執行する。

職名	氏名	就任年月日	担当業務	報酬	備考
				(有)	(注記)
事務局長	寺本 知正	H25.04.01.	事務・会計業務総括	(有)	(注記)
事務局次長	柏原 信行	H25.04.01.	事務局業務	(有)	(注記)
会計（経理）	佐々木朝美	H25.04.01.	会計（経理）業務	有	
庶務・渉外	金児 慧	H25.04.01.	財政・渉外業務	無	
	寺本 知正	H25.04.01.	海外の渉外業務	無	

（注記）基本的に無報酬であるが、事務局業務が過重になった場合、その報酬を供する。

(3) 理事会のもとに選考委員会、編集委員会、実行委員会を設置して、業務推進にあたる。

3. 会議に関する事項

①理事会

開催年月日時・場所	議案	審議結果
第1回理事会 平成27年5月25日(月) 16:00～17:30 協会事務所にて	1. 平成26年度事業報告並びに決算書類の承認の件 2. (報告事項) 理事長業務報告の件 3. 定款変更案の承認を評議員会議題とする件 4. 新理事選任を評議員会議題とする件 5. 評議員会招集の件	1. 前期の事業報告と決算報告について、事業報告書並びに決算書類を議場に提示、慎重審議の結果、満場一致、原案通り承認可決。 2. 理事長より前期末～5月の理事長業務の執行状況の報告を議場に提出、議場はこれを了承。 3. 定款の一部変更案を、理由を添えて提示、これを評議員会の議題とすることを議場に諮りたる処、議場は慎重審議の結果、満場一致、原案通り承認。 4. 任期満了に伴う新理事選任案を提示、これを評議員会議題とすることを議場に諮りたる処、議場は新理事4名の案を原案通り承認。 5. 評議員会で決算承認、定款変更案承認、新理事の選任を得るために、議案を提示の上、評議員会招集の案内をすることを議場に諮りたるところ、議場は満場一致、これを承認。
第2回理事会 平成27年6月16日(火) 17:30～18:00 京都タワーホテル 会議室にて	1. 代表理事互選の件 2. 総裁選任の件	1. 直前の評議員会において、任期満了に伴う新理事4名の選任が為されたのに伴い、新代表理事(理事長)の互選を議場に諮りたる処、満場一致、佐々木恵精を選出、就任を承認した。 2. 定款の一部変更(総裁を置く条文を追加)に伴い、当法人に総裁を置くことを議場に諮りたるところ、満場一致、大谷光真の総裁就任を承認、当人に就任依頼することを了承した。
第3回理事会 平成28年2月29日(月) 18:00～19:30 協会事務所にて	1. 平成27年度補正予算案の件 2. 平成28年度事業計画の件 3. 同 予算案の件 4. 理事長業務執行状況報告の件 5. 「資産調達及び設備投資の見込みについて」承認の件	当期の予算に変更を加える必要が生じ、補正予算を組んだこと、およびその案を議場に諮り、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 2. 平成28年度事業計画案を議場に諮り、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 3. 同 予算案を提示、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。 4. 理事長より提出の、平成27年5月20日以降28年2月26日までの理事長業務執行状況報告について、議場は満場一致、これを了承。 5. 当期中の借入れ、重要な設備投資の予定のないことを議場に報告、議場は満場一致、これを承認した。

②評議員会

開催年月日時・場所	議案	審議結果
第1回評議員会 平成27年6月16日(火) 16:00～17:30 京都タワーホテルにて	1. 議長選出の件 2. (報告事項) 理事会審議の報告 3. (報告事項) 理事長業務報告の件 4. 平成26年度事業報告書の件 5. 同 決算・決算書類の承認の件 6. 定款変更の件 7. 新理事選任の件	1. 本会議の議長に金児慧評議員を選出。 2. 3月に開催の理事会の審議結果を議場に報告、議場は満場一致、これを了承。 3. 理事長より提出の、前期末～5月の理事長業務執行状況の報告について、議場は満場一致、了承。 4. 5月25日開催の理事会で承認された前期事業報告につき、議場は満場一致、了承。 5. 同じく前期決算並びに決算書類の承認につき、資料に基づき審議、議場は満場一致、承認。 6. 当法人の定款について、英文名を加えること、総裁を置く「総裁等の職務」の条文を加えることの変更案を提示、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認可決した。 7. 任期満了に伴う新理事の選任について、理事会からの推薦者4名を慎重審議の結果、原案通り、これを承認可決。

③理事会のもとでの各委員会

- 1) **選考委員会**：平成27年3月26日(木) 17:00～18:20に京都タワーホテルにて開催の選考委員会で、指定期間内に申請のあった助成申請について、審査選考、助成額を決定した。
- 2) **編集委員会**：欧文ジャーナル『Shin Buddhist 11』の編集にとりかかり、5月15日、8月4日、12月15日にそれぞれ編集会議を開催、そのほかにE-mailなどによる委員間の連携によって掲載稿の確定・校正などの編集作業を推進、相当の大部となるため、次期の発刊を予定。

4. 主管官庁の許可・認可および承認を受けた事項

5. 行政官庁指示に関する事項

6. 契約に関する事項

以上の諸事項について、該当事項なし。

7. 寄付に関する事項

当期内の当協会支援として受領した寄付金は下記の通り。(単位：円)

寄付の目的	寄付者	申込金	領収金	備考
基本財産・事業推進のための支援	稲垣久雄様 (300,000 -) ほか 合計 38 件	1,560,000-	1,560,000-	
寄付金合計		1,560,000-	1,560,000-	

8. その他の重要事項

当該事項なし。

以上、平成27年度事業報告(了)